

このたびは、ミツバ「ドルチェホーン」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。この取付・取扱説明書は、製品の正しい使い方や取付け方、使用上の注意について記載しております。取付・取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく製品を取り付けお使いください。また、取付・取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように大切に保管してください。

### 1 安全上の注意事項

ここでは、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。本書では取扱いを誤った場合の危険度を2つのレベルに分類しています。

<b>警告</b>	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。
<b>注意</b>	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

**警告**

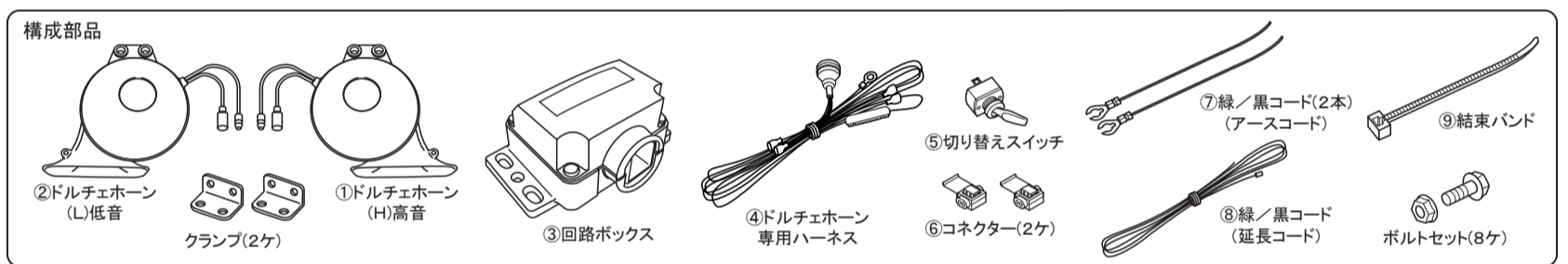
- 本製品は自動車用警音器(12V車専用)です。これ以外の用途への使用は製品や周辺機器の故障、及び思わぬ事故の原因になりますのでやめてください。(バイク等二輪車には使用できません。)
- ステアリングにオートクルーズやオートドライブ等のスイッチが付いている車種で、ステアリングのホーンスイッチが使用できないものがあります。当内容に該当する場合は、専用のホーンスイッチを設ける必要があります。(配線方法: 図1-b参照) 詳しくは弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 万ドルチェホーンが鳴らなくなってしまう場合には、直ちに純正ホーンに戻す等処置をしてください。ホーンが鳴らない状態で運転すると、思わぬ事故の原因になります。

**注意**

- 安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。外さずに作業するとショートする恐れがあります。尚、外す前に車の取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響がある場合があります。
- 吹鳴テストの際はホーンから1m以内に人がいないことを確認してください。耳に障害を起こす恐れがあります。
- 各配線が他の装置等に触れないように整理し固定してください。他の装置に絡まると思わぬ事故の原因になります。

### 2 主要仕様

定格電圧	DC12V
電流	4.5A×2
音圧	114dB
周波数	Hi:390Hz Lo:320Hz



### 3 使用工具

・ドライバー ・プライヤ ・ペンチ ・スパナ ・テスター ・ビニールテープ等

### 4 配線図

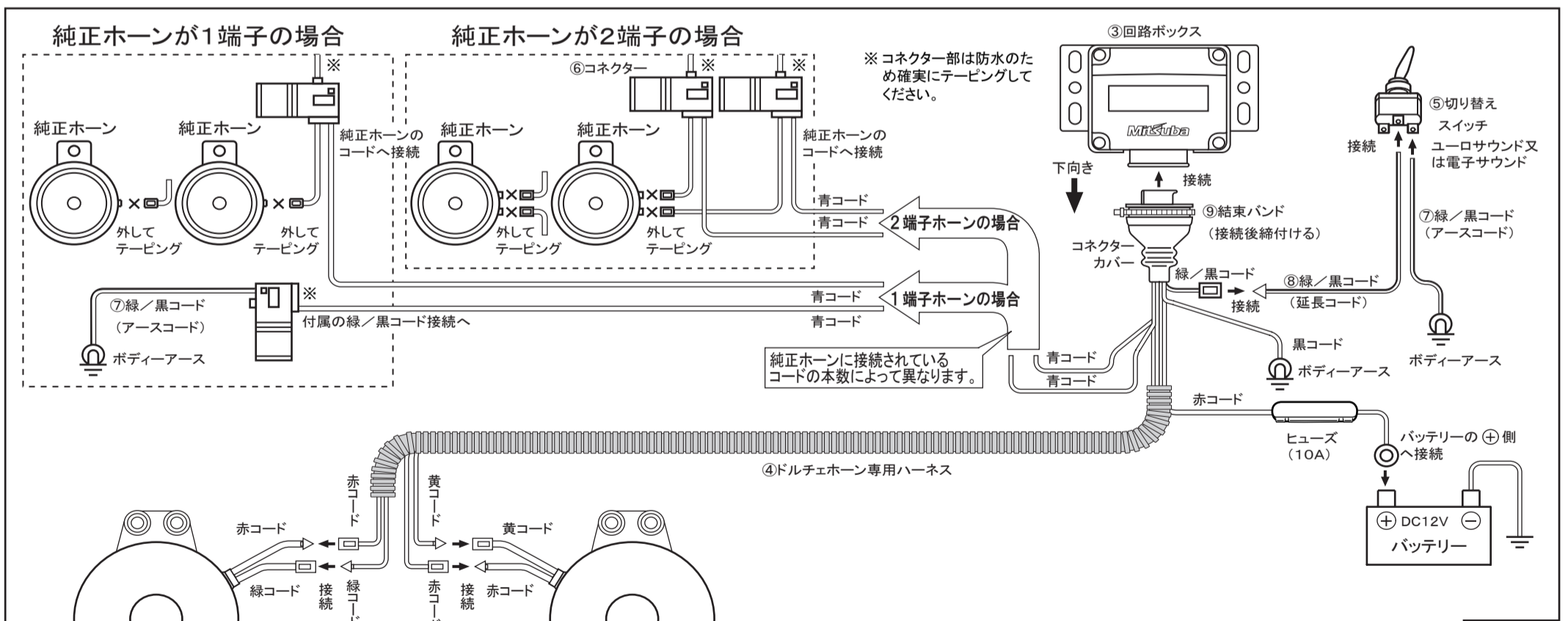


図1-a

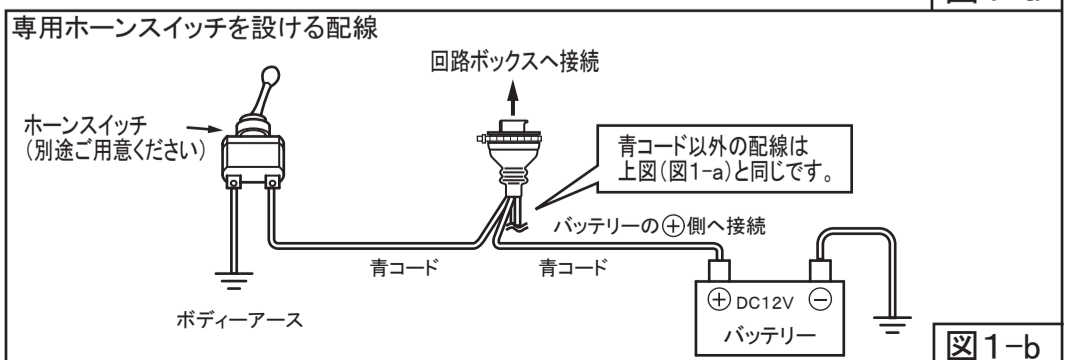


図1-b

**ポイント**

- 高音ホーンと低音ホーンでは接続するコードの色が異なります。ホーンの色と合わせて接続してください。
- ボディーアースとは配線コードを車体の金属部(以下アースポイント)に接続することによりマイナスを取ることを指します。アースポイントに錆、異物、油等が付着していたり、各アースコードを異なるアースポイントに接続した場合、誤動作の原因になります。アースポイントの汚れを落としてから、共通アースポイントで共締めすることをお勧めします。

## 5 取付け上の注意事項

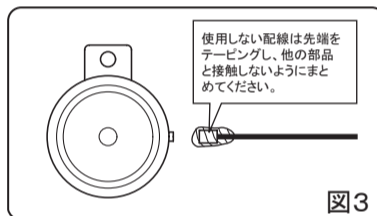
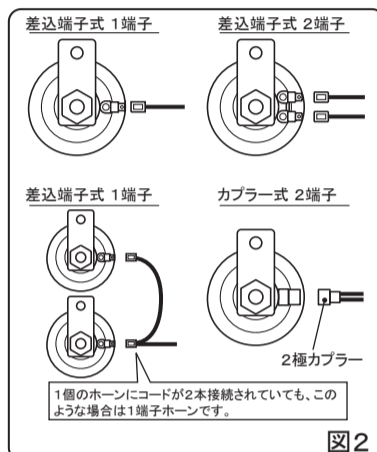
- ホーンと回路ボックスの組み合わせを他のセットのものに入れ替えたり、他のホーンと組み合わせないでください。故障したり、正常に吹鳴しない場合があります。
- ホーンに塗装やコーティングを行わないでください。故障の原因となります。
- ホーンは長時間連続(30秒以上)して鳴らさないでください。ホーンの故障の原因となります。
- 純正ホーンや他のホーンと同時に鳴らさないでください。電流が過大となり、ヒューズが切れ、ホーンスイッチ破損の原因となります。
- ハーネス類は端子抜け、噛み込み、破損をしないように確実に接続・配線処理してください。これらを怠るとショート、火災の原因となります。
- ホーンは剛性の高い鉄板部に取付けてください。剛性の低い部分に取付けると正常に鳴らなかったり、ホーンが脱落し、思わぬ事故の原因となります。

- ホーンは、周囲の部品やボディー等に接触しないように取付けてください。接触していると正常に鳴らなかったり、ホーンが破損して脱落し、思わぬ事故の原因となります。
- ホーンの渦巻き内に水がはいらないように、開口部を下向きに取付けてください。渦巻き内に水が入ると正常に鳴らなくなったり故障の原因となります。
- 回路ボックスは、水がかかりにくく、エンジンの熱の影響を受けにくい場所に取付けてください。水の浸入や熱は、故障の原因となります。
- ホーン取付けステーの折り曲げ・回転、ネジの回転、渦巻き部の回転等、改造を行わないでください。改造は故障の原因となります。
- 純正ホーンから外した配線の先端やコネクター部はテーピングし、他の部分と絶縁してください。絶縁処理が不十分な場合、被水等により誤動作する恐れがあります。
- コネクターの接続を確実に行ってください。接続が不十分な場合正常に吹鳴しません。
- コネクターのカバーを確実に閉めてください。カバーが開くとショートの原因となります。

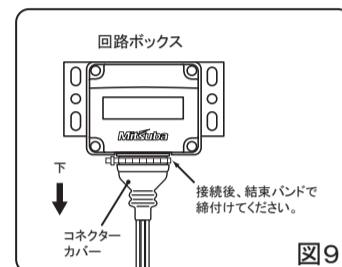
## 6 取付け方法

### 1 ホーン取付け

- ① 純正ホーンの場合と個数、及びホーンから出ている端子数(1端子か2端子か)を確認してください。(図2参照)
- ② 純正ホーンに接続されているコードをホーンから外し、他の部分と接触しないよう先端をテーピングしてください。(図3参照)
- ③ ドルチェホーン専用ハーネスの青コードを純正ホーンから外したコードに接続してください。(図1-a、図4参照)  
また、接続には付属のコネクターを使用してください。接続後は、防水のためテーピングしてください。(図4、図5参照)



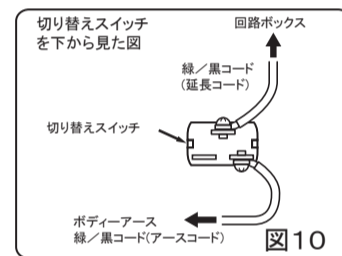
- ② カブラ部が下を向くように取付けてください。(図8参照)
- ③ 回路ボックスのカブラーにドルチェホーン専用ハーネスのカブラーを接続してください。
- ④ ドルチェホーン専用ハーネスについているコネクターカバーを嵌合させ、結束バンドで締付けてください。(図9参照)
- ⑤ ドルチェホーン専用ハーネスから出ている黒コードをボディーアースしてください。



ボディーアースとは配線コードを車体の金属部に接続することによりマイナスを取ることです。ボディーアースが確実に接続されていない場合は、ホーンが鳴りません。

### 3 切り替えスイッチの取付け

- ① 切り替えスイッチの取付け場所を水のかからない場所に決めてください。
- ② 切り替えスイッチを取付け、2種類の緑/黒コードを接続してください。(図1-a、図10参照)
- ③ 緑/黒コードをボディーアースしてください。



ボディーアースが確実に接続されていない場合は、余韻が付きません。

### 4 電源の接続

- ① ドルチェホーン専用ハーネスの赤コードをバッテリーのプラス端子に接続してください。(図1-a参照)

### 5 吹鳴テスト

- ① 取付け作業前に外したバッテリーのマイナス端子を元通りに接続してください。
- ② ステアリングのホーンスイッチを押して、ホーンが正常に鳴ることを確認してください。(図1-bの場合は、新設のホーンスイッチを操作して確認してください。)
- ③ 切り替えスイッチで音色が切り替えられることを確認してください。



吹鳴テストの際はホーンから1m以内に人がいないことを確認してください。至近距離で吹鳴させると耳に傷害を起こす恐れがあります。

### 6 仕上げ

- ① 各配線が他の装置等に触れないように整理し固定してください。



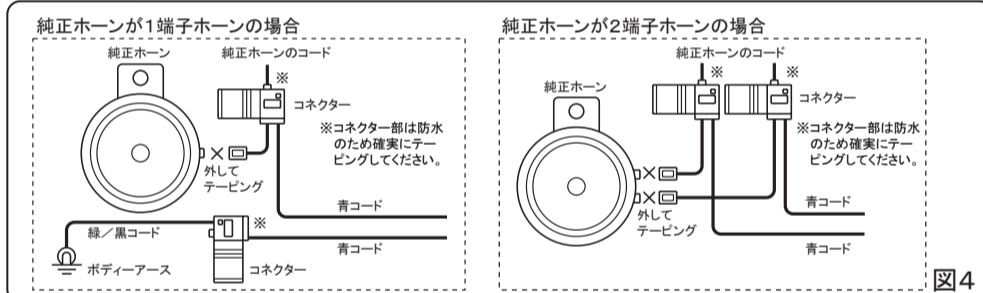
配線処理を怠ると、配線が他の装置に触れたり、絡まったり、車体に噛み込んだりし、思わぬ事故の原因となりますので確実に処理してください。

### 7 故障かなと思ったら

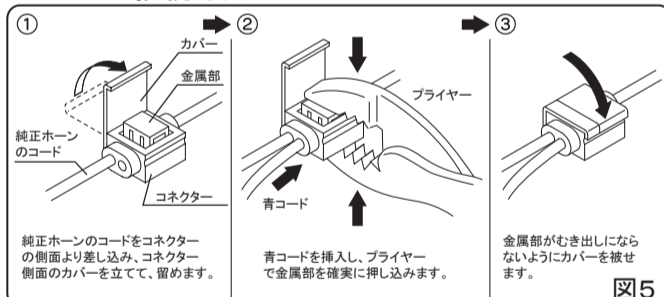
- ① 下表の確認を行ってください。確認を行っても正常に吹鳴しない場合は、本書表面に記載のユーザーサービス係までご連絡ください。

症状	確認項目
ホーンが全く鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1 ホーン取付け」③の専用ハーネスの青コードの接続を確認してください。</li> <li>・「2 回路ボックスの取付け」⑤の黒コードの接続状態を確認してください。</li> <li>・「4 電源の接続」①の接続状態を確認してください。</li> <li>・ヒューズが切れていないか確認してください。</li> <li>・車側の純正ホーン回路を確認してください。詳しくはミツバユーザーサービス係までお問い合わせください。</li> </ul>
ホーンが片側鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴らないホーンのコード接続状態を確認してください。</li> </ul>
余韻が付かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り替えスイッチを切り替えてみてください。</li> <li>・切り替えスイッチの緑/黒コードの接続位置、及び接続状態を確認してください。</li> <li>・緑/黒コードのボディーアース接続状態を確認してください。</li> </ul>
音が極端に小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1 ホーン取付け」④の接続を確認してください。</li> </ul>

### 純正ホーンの違いによる青コード接続方法



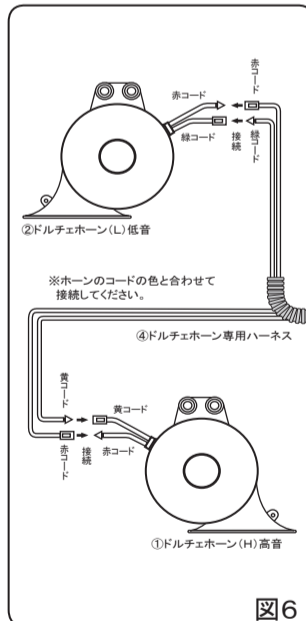
### コネクター接続方法



### 4 ドルチェホーン専用ハーネスの赤、緑、黄コードをドルチェホーン各端子に接続してください。(図1-a、図6参照)



ホーンの高音、低音用を間違えて接続しないよう注意してください。高音、低音を間違えると正常に鳴りません。また、端子の接続が不確実だと接触不良や端子抜けの原因となります。

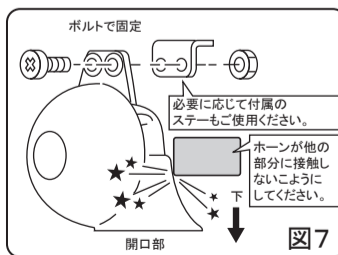


### 5 ホーン取付け場所を、剛性の高い鉄板部分で探し決定してください。



剛性の低い部分に取付けると正常に鳴らなかったり脱落の原因となります。

- ⑥ ホーンの渦巻き部の開口部を下向きにし、付属のボルト・ナットで確実に固定してください。(図7参照)



### 2 回路ボックスの取付け

- ① 水がかかりにくく、エンジンの熱の影響を受けにくい場所を探してください。



水の浸入や熱は、故障の原因となります。

